

令和元年度第1回南魚沼市総合教育会議 会議録

日 時 令和元年12月24日(火) 13時15分～14時45分

場 所 南魚沼市図書館 多目的室

出席者 南魚沼市長
林 茂男
教育委員会
教育長
南雲 権治
委員
西野 仁、角谷 正雄、川島 亜紀子、須藤 文子

(事務局出席者)

市長部局

総務部長 樋口 一

企画政策課長 片桐 克巳

企画政策課行革主幹 中島 健、企画政策課企画班主事 青木 翔太

教育委員会事務局

教育部長 平賀 重朗

学校教育課長 山崎 一也

社会教育課長 滝沢 一也

生涯スポーツ課長 西潟 一郎

子ども・若者育成支援センター長 阿部 正敏

学校教育課管理指導主事 笛木 隆、田中 和徳

学校教育課指導主事 倉上 明、種村 啓子

学習指導センター指導主事 久川 寛、岡村 秀康

子ども・若者育成支援センター指導主事 齋木 道雄

学校教育課学校庶務主幹 佐藤 丈夫、学校教育課施設主幹 貝瀬 好彦

協議事項 (1)次期教育基本計画について
(2)中学生海外派遣事業について
(3)教育委員会人事について
(4)その他

<p>事務局 (企画政策課長)</p>	<p>本日はお忙しいところ、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。 開会に先立ち、資料の確認をお願いします。 (資料 1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、資料 2、資料 3 の確認) それではただいまから、令和元年度第 1 回南魚沼市総合教育会議を開催いたします。初めに市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>皆さん、本日はご出席いただき大変ありがとうございます。待望の雪が降ってきたところではありますが、(旅館等ではこの少雪により)キャンセル等が相次いでおりまして、(スキー場関連の)業界の皆さんをはじめ、あらゆる関連する産業が大変な状況になっております。そのため、市でも少雪に伴う不況対策を検討しているところであります。我々以上に子どもたちは雪を待ち焦がれているんじゃないかなと思っていますが、何とか順調な降雪で年末を迎えられればと思っています。</p> <p>この総合教育会議は、平成 27 年 4 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い毎年開催させていただいておりまして、今年で 5 年目となります。</p> <p>この会議では「教育振興にかかる施策の大綱」を策定することになっておりまして、非常に大きな視点から教育全般についての協議を進めて行くということで、皆さんからは大変なご尽力をいただいているところです。</p> <p>特に本日は協議事項にあるとおり、「次期教育基本計画の策定について」ということで、次期計画の策定を行う時期が到来するという状況で、皆さんとともに緊張感を持って進めて行きたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>教育行政につきましては、課題が山積しております。これはいつの時代になっても尽きることはないことだと思っていますが、特に昨今は皆さんにもご尽力をいただきながら、関係者一同、地域の皆さんも一緒になりまして、小中学校の学区再編の問題、特別支援教育の充実、また、「学びの郷南魚沼プラン」の推進、そして、子ども・若者の育成支援の推進など様々な面で重要な課題に取り組ませていただいております。</p> <p>私が市長に就任してからも生涯スポーツ課の設置、教育委員会部局の事務室の一本化、そして今年は普通教室へのエアコンの設置など様々な課題に取り組ませていただいたところです。</p> <p>そして本日は特別な思いを持ってここに立たせていただいております。平成 24 年 12 月から教育長として 7 年間という長きにわたり、尽力されてきた南雲教育長が本日をもって退任されます。本当に長きにわたってありがとうございます。</p> <p>南雲教育長におかれましては、本当に並外れた行動力で、私が最後の議会で言ってしまったんですが、「戦う教育長」ということで、全県下に名を轟かせ、様々な成果を上げてこられたわけですが、退任後も高い見地から、我々の気づかない点を含めまして、いろいろな角度からご支援をいた</p>

だけのものと期待しておりますので、これからもよろしく申し上げます。

議会の同意を得て、明日からは岡村新教育長が就任されるわけですが、山積している課題は尽きることはないと思っておりますので、(市行政の中で)一緒に頑張っていたきたいと思っております。どうかよろしく申し上げます。

本日の会議を充実したものにするとともに、何よりも地域においては学校教育、社会教育がすべての根底にあると思っておりますので、より良い地域社会を目指して、皆さんとともに進むことを改めて思い新たにいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。本当に本日はお忙しい中ではありますがよろしく申し上げます。

事務局

(企画政策課長)

本日の出席者は、お配りの「出席者名簿」「座席表」のとおりでありますので、ご紹介を省略させていただきます。なお、図書センター長は業務都合により欠席となっております。

それでは次第に沿って進行させていただきたいと思えます。

次第第3「総合教育会議の役割等」については、別添「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)」に記載のとおりであり、すでに皆様ご存じのことと思えますので、説明は省略させていただきます。

次第第4「協議事項」についての進行を林市長よりお願いいたします。

市長

さっそく協議に入らせていただきます。協議事項(1)「次期教育基本計画について」事務局から説明をお願いします。

事務局

(学校教育課長)

協議事項(1)については西野委員から説明をさせていただきます。

(西野委員)

【協議事項(1)「教育基本計画の策定について」説明】

(資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、当日資料1を用いて説明)

市長

何か質疑はありますか。

市長

質問がないようですので、それでは協議事項(2)「中学生海外派遣事業について」事務局から説明をお願いします。

事務局

(学校教育課長)

【協議事項(2)「中学生海外派遣事業について」説明】

(資料2を用いて説明)

市長

この件については、私のほうから少し補足をさせていただきます。

日韓友好につきましては、今ほど説明がありましたが、きっかけはスキー場にあります。韓国に初めてスキー場を作るときに南魚沼市のスキー場関係者が現地に行って建設に当たった、そこが原点であります。

その後、高円宮記念日韓交流基金から表彰を受けたこともありました

が、特に素晴らしいのは、30数年にわたってこの活動が一度も途切れなかったことです。全国で日韓友好の団体というのは沢山あるわけですが、二国間の様々な課題があり、時には大きく騒がれたこともある中で、一度も途切れなかった。他のところは、ほとんどが中断若しくは情勢を見守るといった形で途切れております。途切れなかった唯一は南魚沼市との交流です。この点は大きな誇りをもって良いところだと思います。

そして、今回、明日(12/25)から中学生たちが出発するわけですが、特にこの日韓関係の大変な1年間でありましたので、韓国総領事も大変心配され、この事業の安全な実施に向けて、特段のお力添えをいただいたところであります。

そして、中学生においては、帰ってきてからの教育も重要だと思います。私が教育委員の皆さんに言うのは口幅ったいのですが、人の恩をちゃんと返すことをしっかりと教えたいと思います。事前研修を行った際に、ジョン総領事が南魚沼市に来市され語ってくれました。ジョン総領事から話を聞いている中学生たちをずっと見ていたんですけど、その子どもたちが目の色が変わった瞬間がありました。やる気のスイッチというかですね、そういういったものを入れてくれた瞬間だと思います。本当に目の輝きが変わった瞬間があって、それをぜひ今回の交流が終わって帰ってきたら、今度はジョン総領事にお礼と報告に行くことが人の道であり、そういった報告をし合うということが礼節につながると思いますので、3学期で子どもたちは大変だと思うんですけども、新潟に連れて行って報告する機会も考えていただきたいと思います。

先日、市では市民との車座会議「ざっくばらん」を、中学生を対象にして行ったのですが、その中で今年度でアメリカのオレゴン州への派遣事業が終わって来年から行けなくなるのではないかと、ということが我々が思っている以上に中学生の中では非常に噂になっていて、残念がっている思いを聞いていました。その場で、「まだ決まっていないが、新たな国際交流事業を考えている」という話をしたところ、非常に子供たちが喜んでました。国際交流を子どもたちが身近に感じ、目指しているところになっているということは非常に嬉しい限りです。以前に比べ、大勢が手を挙げて行きたがっているのは、本当に子どもたちが前向きになってきたことと感じています。

そして、カナダのビクトリアへの派遣事業については、(市が実施する海外派遣事業の)選考に漏れた子供たちが再チャレンジをする場となっているということで、長年にわたって日野市の皆さん、ひの社会教育センターの皆さんにはお世話になっております。

それからアメリカへの新たな国際交流事業の件であります。(先般の視察の際、派遣先として考えている)ニューヨークではホームレスの方を私はほとんど見ませんでした。これはニューヨーク市が政策を完全に変えた、ホームレスの方を全部雇用したんです。そしてあれだけ治安が悪いといわれていたところが一変しまして、今ニューヨークは大変治安が良い街として有名になっています。ただ、危険なところはどこにでもあります。

東京にもあるわけですから。それはそれで社会勉強だと思いますが、ニューヨークについては本当に素晴らしい街になっています。

(2001年の)9.11の同時多発テロの事件は、中学生にとっては自分が生まれていない頃の歴史上の事件ですが、しかし、そこへ行けば、その後世界はどのような情勢で動いたかということ学んだり、我々が思っている以上に武士道精神というか市民の熱い思いにより復興再建したというのが手に取るようにわかる。広島原爆ドーム、記念館と同じであります。私も行って見て本当に驚きましたので、そういったところを中学生からも行ってもらい、何事か感じて来れる素晴らしい訪問先という確信を持ちました。

10月に足早に視察に行ってきましたが、向こうで活躍している県人会の皆さんはじめ、大勢の日本人社会の皆さんがいます。そして特に嬉しかったのが、今回私どもが今回のニューヨーク視察でお世話になった学生は、国際情報高校出身者であり、そのネットワークもあります。そこからは、「派遣事業をぜひ我々に手伝わして下さい」、「こちらに来たらお手伝いします」と言ってくれました。その中でも一番お世話になった坂内(バンナイ)君という子が実は今南魚沼市にきています。八海山スキー場近く日本大学のセミナーハウスで、全国から30名くらいが集まって、勉強会を開催しています。そういった優秀な学生が向こうで活躍している姿を見るだけでも中学生には何事にも代え難いものを感じてくると思いますので、ぜひとも教育委員の皆様にもご理解をいただきまして勇気をもって送り出してもらいたいと思います。

日本の総領事(大使)も、「全面的に支援します」と言ってくさりますので、南魚沼出身の大活躍している先輩たちがいるニューヨークに送り出していただきたいと思います。

これらの交流事業は基金を財源に行っています。今後この事業に共感いただける方々のご協力やふるさと納税の活用などを含めて、将来基金を目減りさせないような仕組みづくりを考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

西野委員

今の市長の発言を聞いて大変重要なことだと私も理解しましたし、こういうことを続けていくということは基本的には重要な、やっていかなければならないものだと思いますが、やはり学校教育ですので、できるだけ多くの皆さんが参加できるような方法を考えていかなければならないのではないかとということが1点。

それから、特にこの種の事業を実施する場合、教育委員会だけではとても難しいことがあり、将来的には教育委員会ではなく、市長部局が主体とならなくては限界が生じる可能性があるかなという気がします。そんな思いもあって賛成ではありますが、教育という点では、行けない者のことを考えるとまた心が痛むといったこともあります。

市長

西野委員が言われたことはすごくわかります。その通りだなと思いまし

て、本来は市長部局の仕事みたいなどころがあるのかなという感じもしません。政策的なこともありますので。その辺はまだ答えは出ませんが、今後いろいろ考えさせてもらいます。子どもの派遣だけでいいのかという思いも自分の中には芽生えていて、例えば職員の教育とか、産業振興ですとかいろんな観点があります。これから皆さんからまたいろんなご意見等いただきながら、いろいろ考えてみたいと思っています。

市長

協議事項（3）について事務局から説明をお願いします。

教育部長

【協議事項（3）「教育委員人事について」説明】

（資料3により、新教育長、教育委員が議会の同意を得て、選任される旨の説明）

新教育長、再任委員、現教育長の順にあいさつ

市長

協議事項（4）「その他」について事務局からなにかありますか。

事務局

市長部局からはありません。

（企画政策課長）

教育委員会部局もありません。

（学校教育課長）

市長

それでは以上をもちまして、令和元年度第1回の総合教育会議を閉会させていただきます。大変ありがとうございました。